

注目！ 新型コロナ以外の感染症

2023年4月11日

東京都医師会 理事

川上 一恵

子どものワクチン接種率が低下しています

第1期 麻しん風しんワクチン接種状況

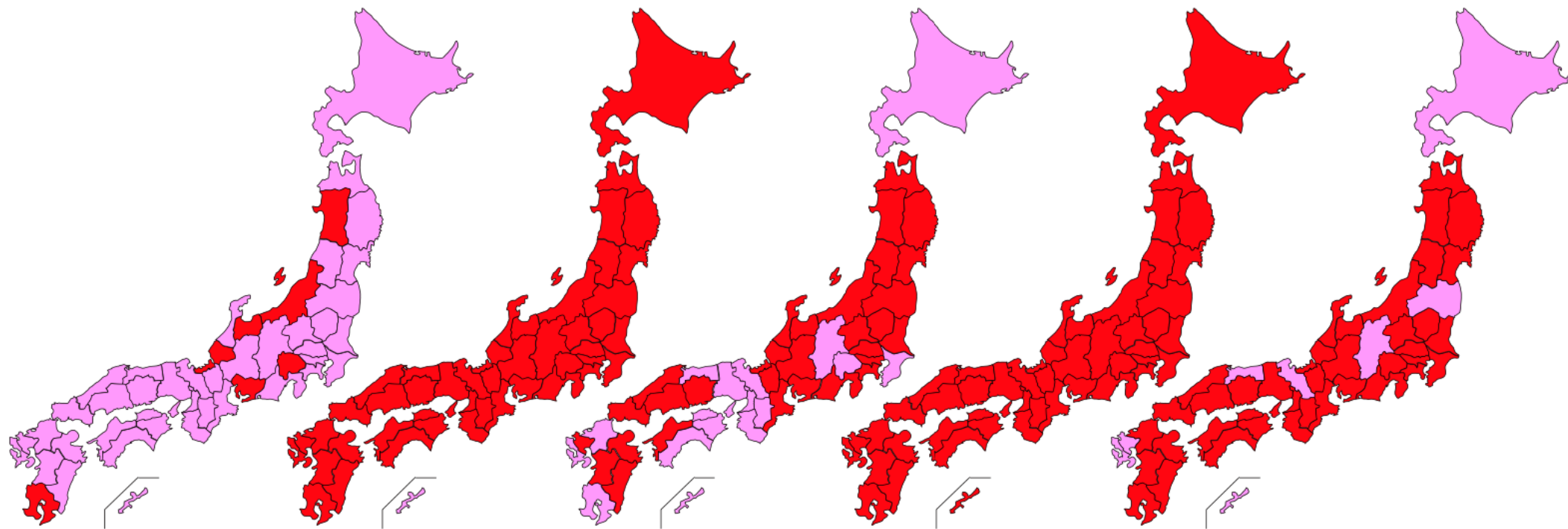
令和03年度
(2021年度)
麻しんワクチン接種率
93.5%
風しんワクチン接種率
93.5%

令和02年度
(2020年度)
麻しんワクチン接種率
98.5%
風しんワクチン接種率
98.5%

平成31年度
(2019年度)
麻しんワクチン接種率
95.4%
風しんワクチン接種率
95.4%

平成30年度
(2018年度)
麻しんワクチン接種率
98.5%
風しんワクチン接種率
98.5%

平成29年度
(2017年度)
麻しんワクチン接種率
96.0%
風しんワクチン接種率
96.0%



※麻しんワクチン接種率 (%)
= (麻しん風しん混合ワクチン接種者数+麻しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100

※風しんワクチン接種率 (%)
= (麻しん風しん混合ワクチン接種者数+風しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100

※地図は麻しんワクチン接種率に基づく色分け

第2期 麻疹風しんワクチン接種状況

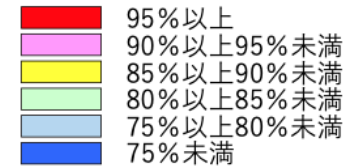
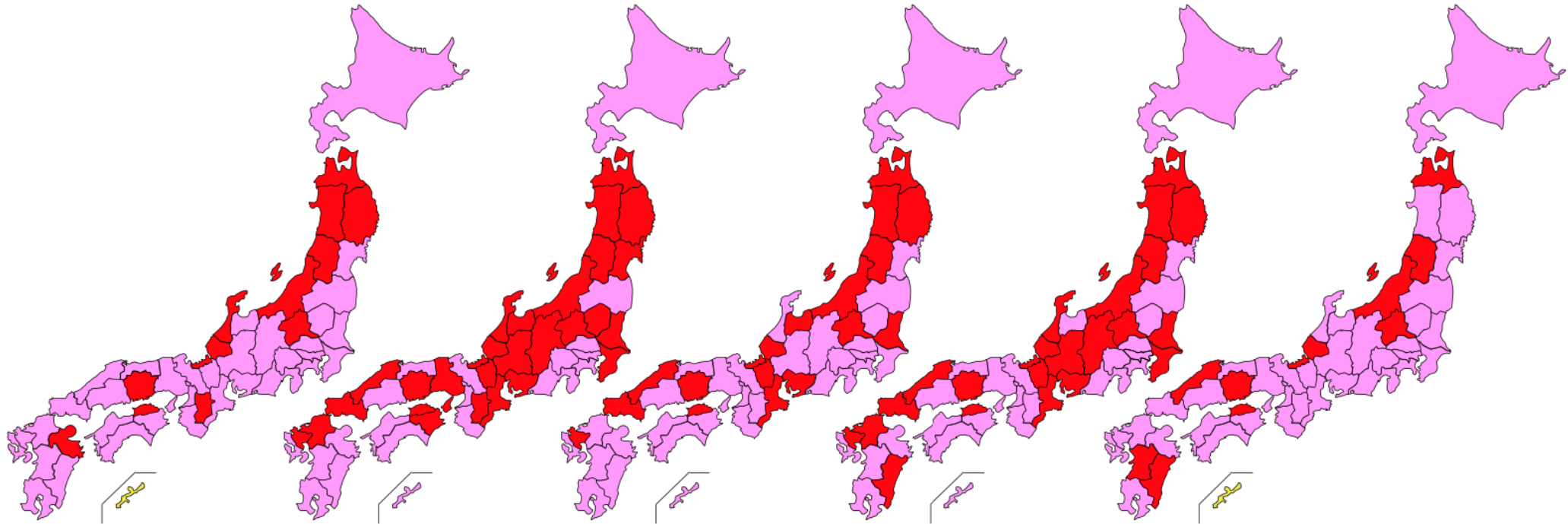
令和03年度
(2021年度)
麻疹ワクチン接種率
93.8%
風しんワクチン接種率
93.8%

令和02年度
(2020年度)
麻疹ワクチン接種率
94.7%
風しんワクチン接種率
94.7%

平成31年度
(2019年度)
麻疹ワクチン接種率
94.1%
風しんワクチン接種率
94.1%

平成30年度
(2018年度)
麻疹ワクチン接種率
94.6%
風しんワクチン接種率
94.6%

平成29年度
(2017年度)
麻疹ワクチン接種率
93.4%
風しんワクチン接種率
93.4%

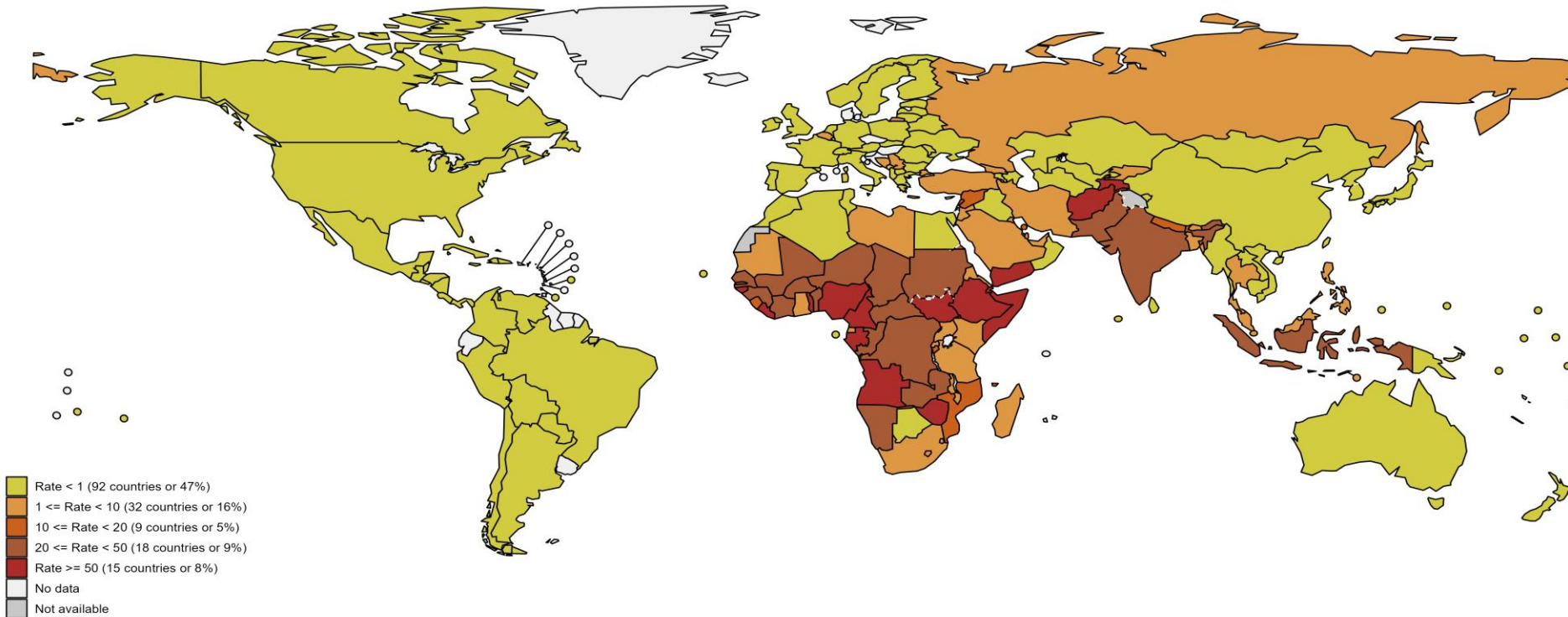


※麻疹ワクチン接種率 (%)
= (麻疹風しん混合ワクチン接種者数+麻疹単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100

※風しんワクチン接種率 (%)
= (麻疹風しん混合ワクチン接種者数+風しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100

※地図は麻疹ワクチン接種率に基づく色分け

Measles Incidence Rate per Million (12M period)



Highest incidence rates

Country	Cases	Rate
Liberia	5240	988.18
Somalia	15825	899.27
Yemen	20556	610.03
Gabon	1249	522.81
Zimbabwe	5139	314.88
Djibouti	189	168.62
South Sudan	1762	161.46
Afghanistan	4698	114.23
Cameroon	3050	109.26
Angola	3373	94.78



Map production: World Health Organization, 2023. All rights reserved
Data source: IVB Database

Disclaimer: The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.

0 875 1750 3500 Kilometers

BCG接種率

	H28	H29	H30	R元	R02	R03
目標値	BCG接種率					
都	97.5	97.5	97.4	98.6	101.3	96.5
千代田区	102.5	101.7	97.7	101.8	98.8	95.5
中央区	99.0	97.0	96.4	96.5	96.4	95.8
港区	93.8	84.4	88.6	85.4	91.2	87.5
新宿区	94.6	93.7	93.7	97.5	94.9	88.1
文京区	99.4	97.4	96.8	101.1	95.9	85.3
台東区	95.2	92.7	95.5	94.4	98.7	93.3
墨田区	97.7	97.7	97.7	95.1	99.6	95.4
江東区	102.0	96.9	100.8	99.3	102.6	95.2
品川区	97.9	100.0	99.9	100.8	101.2	100.1
目黒区	98.0	93.4	85.6	96.3	99.8	98.0
大田区	99.3	100.0	101.5	96.6	101.4	96.3
世田谷区	98.3	94.3	90.2	95.2	98.0	96.1
渋谷区	96.2	88.9	96.5	96.5	98.7	88.4
中野区	96.9	100.6	94.1	99.3	98.2	99.4
杉並区	100.6	101.6	101.6	102.1	105.1	100.9
豊島区	92.4	91.8	91.9	99.0	94.6	91.6
北区	99.3	96.6	99.3	109.6	101.5	94.3
荒川区	93.5	97.2	96.1	97.4	109.0	105.7
板橋区	93.5	95.8	96.7	100.2	101.3	97.1
練馬区	96.8	97.1	98.9	99.0	103.0	93.2
足立区	89.1	98.9	99.8	97.7	103.1	96.8
葛飾区	97.0	97.9	98.5	103.1	99.3	99.9
江戸川区	100.2	99.2	99.0	101.2	103.6	97.7

	H28	H29	H30	R元	R02	R03
目標値	BCG接種率					
八王子市	99.4	98.1	96.8	103.0	113.0	95.3
立川市	92.3	93.9	95.3	91.2	80.7	98.2
武蔵野市	97.9	102.3	100.7	101.3	99.5	96.2
三鷹市	95.2	101.1	95.0	109.2	102.6	94.8
青梅市	96.4	98.0	102.4	96.1	126.2	112.4
府中市	103.3	100.5	103.4	99.8	103.6	95.7
昭島市	96.0	99.3	101.5	93.6	103.9	99.6
調布市	106.2	99.4	97.8	102.2	99.3	100.9
町田市	98.9	99.6	97.0	98.7	99.8	100.0
小金井市	99.2	99.1	100.0	98.3	97.5	108.5
小平市	99.1	103.5	96.1	96.0	116.0	102.8
日野市	93.1	102.9	100.2	96.6	109.8	94.8
東村山市	100.8	98.9	100.4	92.4	114.5	106.3
国分寺市	103.3	97.6	102.8	103.3	103.5	95.2
国立市	97.3	95.5	100.0	102.3	98.6	102.7
福生市	128.6	95.6	98.9	93.9	112.0	97.1
狛江市	95.5	101.0	94.7	99.9	105.3	103.3
東大和市	100.9	97.9	98.9	103.1	103.7	98.3
清瀬市	85.7	101.0	99.6	106.2	102.2	103.4
東久留米市	100.5	98.7	102.0	94.1	108.4	98.7
武蔵村山市	98.2	99.4	96.7	102.6	95.6	95.0
多摩市	99.7	103.4	106.8	103.0	104.3	95.6
稲城市	98.7	100.6	105.7	97.4	103.4	95.6
羽村市	92.3	98.5	102.3	82.0	104.1	88.2
あきる野市	94.0	103.6	89.6	96.9	96.6	93.0
西東京市	90.8	101.0	99.6	96.3	104.4	100.2
瑞穂町	103.2	101.0	100.0	95.4	92.9	100.0
日の出町	96.0	105.5	99.0	86.5	94.1	96.5
檜原村	100.0	100.0	72.2	66.7	44.4	70.0
奥多摩町	228.6	106.3	76.5	127.3	88.2	136.4

	H28	H29	H30	R元	R02	R03
目標値	BCG接種率					
大島町	106.7	78.2	87.5	87.8	104.4	103.6
利島村	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
新島村	100.0	250.0	100.0	100.0	105.9	72.7
神津島村	100.0	94.7	100.0	90.9	100.0	100.0
三宅村	112.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
御蔵島村	100.0	100.0	75.0	80.0	100.0	100.0
八丈町	100.0	100.0	100.0	98.2	100.0	100.0
青ヶ島村	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-
小笠原村	57.9	110.0	92.3	95.0	96.7	114.3


目標達成 区市町村数	30	32	30	29	42	25
---------------	----	----	----	----	----	----


東京都	97.5	97.5	97.4	98.6	101.3	96.5
-----	------	------	------	------	--------------	------

全国	98.8	98.3	95.4	98.4	104.2	
----	------	------	------	------	-------	--

国の基準は95%

R3年度 凡例 **0** 前年比10%以上減目標値95%以下

 目標値95%以下

 前年比10%以上減

 目標達成

低蔓延化後における東京都の結核普及啓発について

(1) 東京都の結核患者の推移

かつて国民病といわれ、我が国の死因で最も多くを占めていた時代があった結核患者は、関係者のたゆまぬ努力により、2000年代に入った後も減少し続け、2021年には東京都における人口十万人当たりの結核罹患率は10.2となり、低蔓延国の目安である10未満は目前となっている。

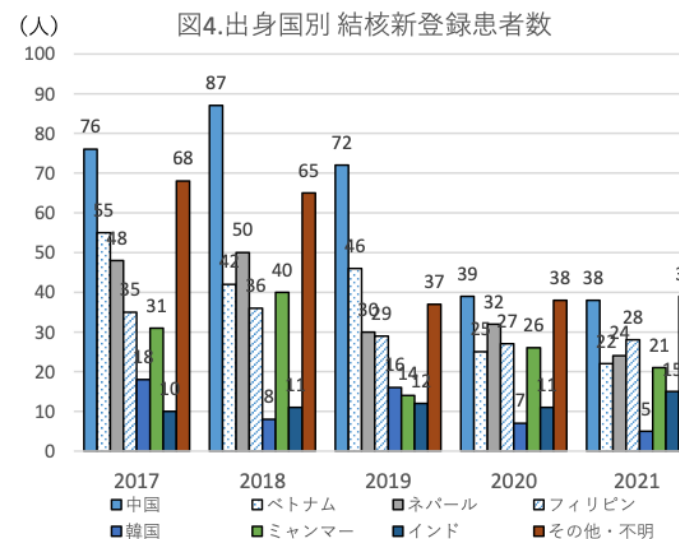
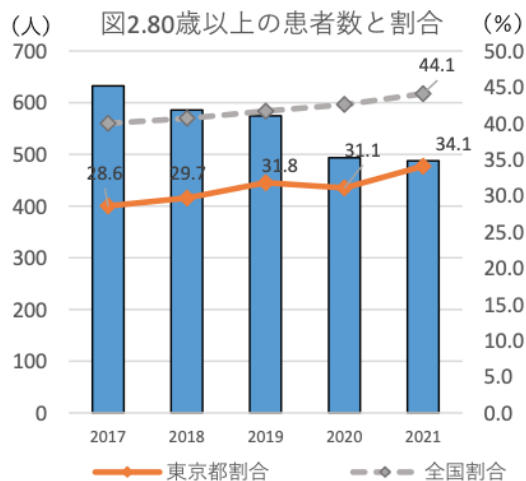
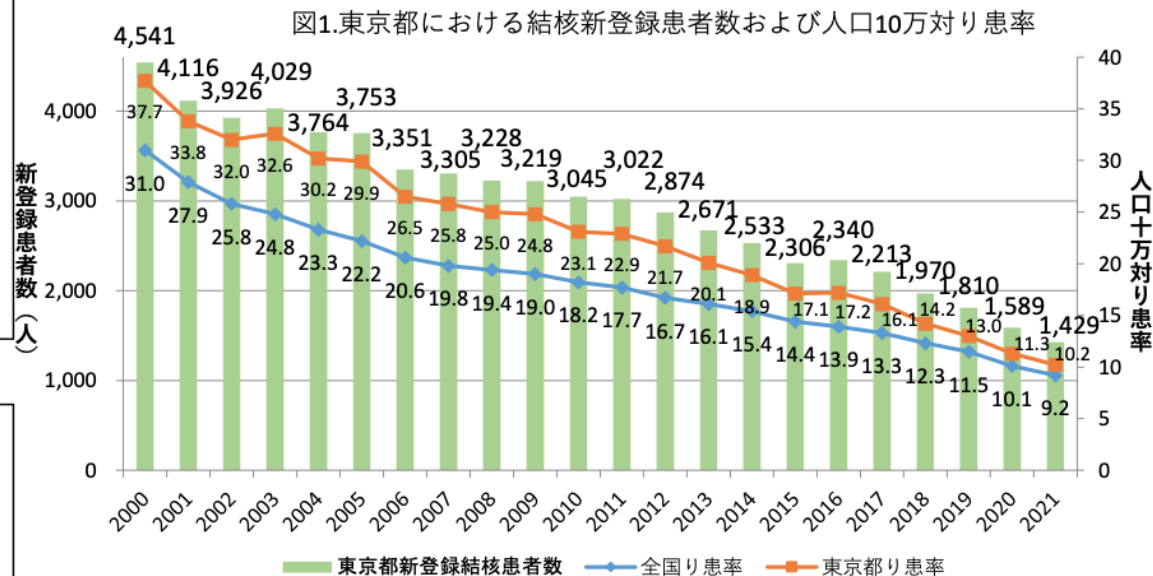
しかしながら、東京都においては依然として毎年1000人以上の新規の結核患者が発見され、毎年100名以上が結核により死亡しており、我々を脅かす疾患であり続けている。

したがってこれからも前根絶（十万人当たり1.0未満）、根絶（十万人当たり0.1未満）を目指し引き続き対策が必要である。

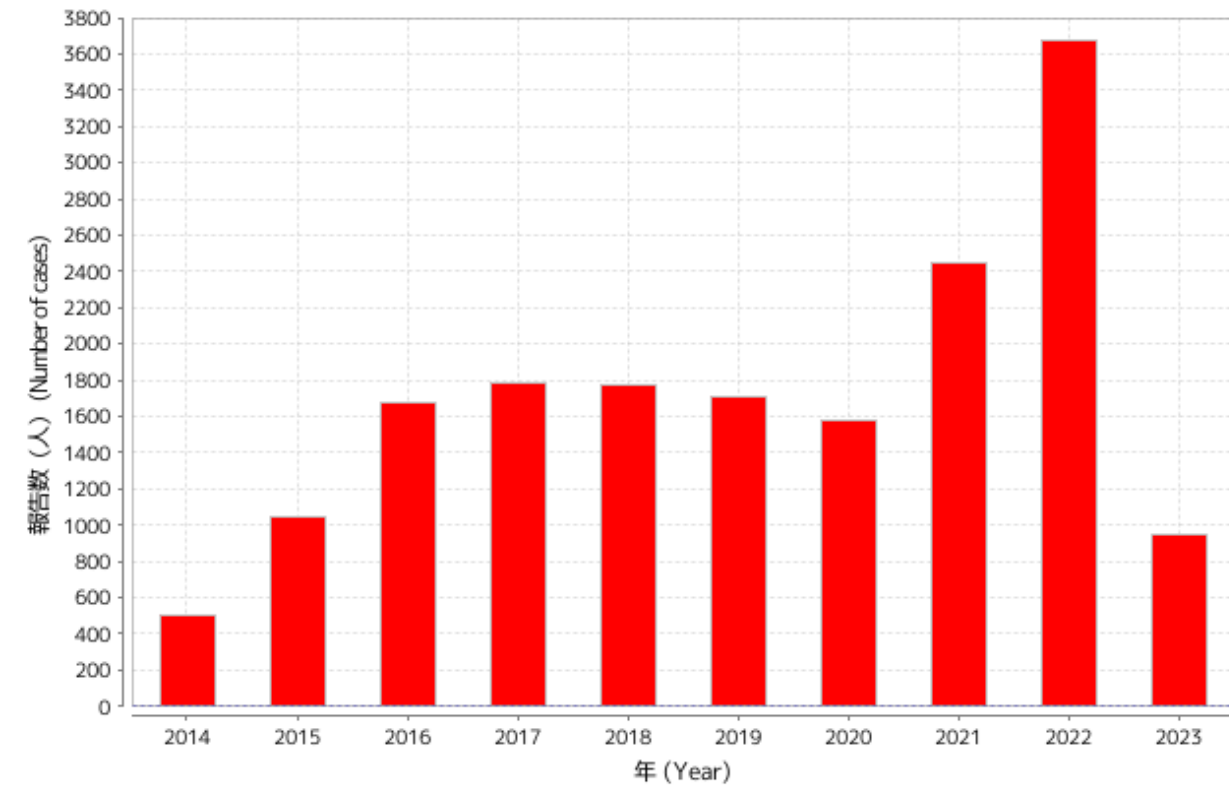
(2) 低蔓延化後における結核啓発

結核患者の総数は減少傾向ではあるが、高齢者や外国人の全体に占める割合は増加傾向であり、外国出生結核患者においては、出身国も多様化している。

したがって、これまで行ってきた普及啓発の継続のみならず、高齢者施設や外国人労働者の管理団体等、周囲の方向けに結核の正しい知識の普及啓発についても積極的に行っていく。

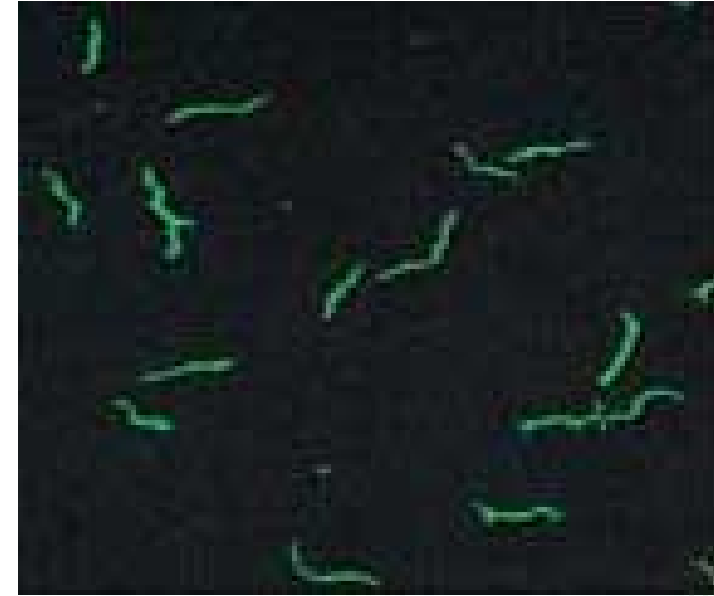


緊急事態！梅毒が増加しています

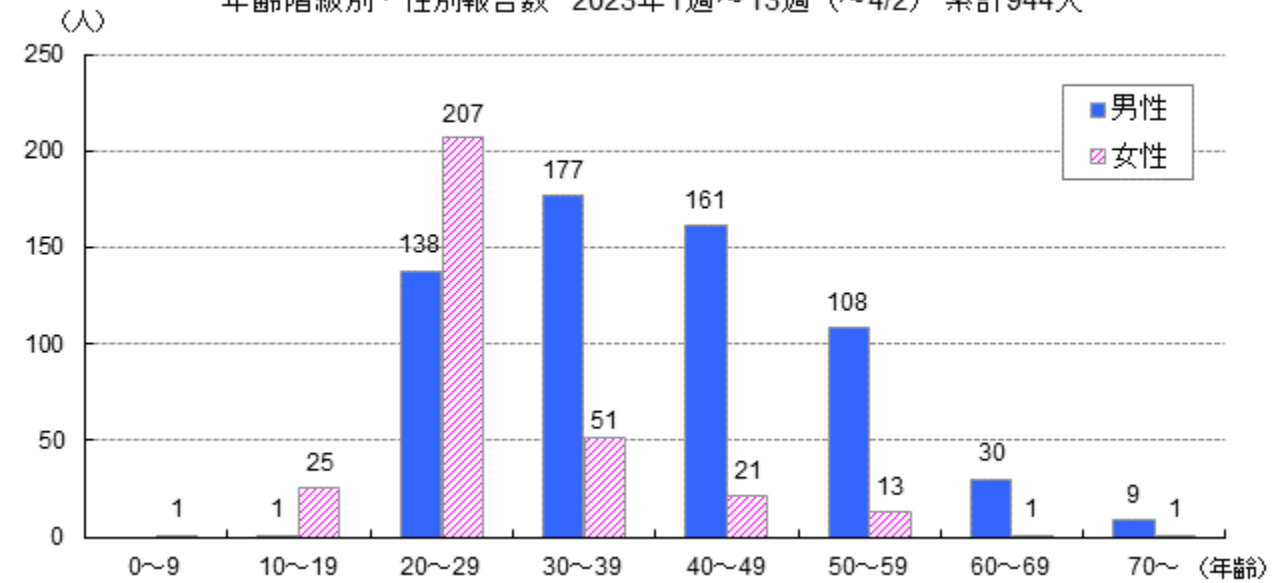


梅毒

(C)2002-2023 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health



年齢階級別・性別報告数 2023年1週～13週 (～4/2) 累計944人



<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/syphilis/syphilis/>



先天梅毒と後天梅毒に分けられ、さらに後天梅毒は4期に分類されています。

感染後、約1週間から13週間の潜伏期間を経て発症します。現在では、比較的早期から治療を開始する例が多く抗生物質が有効であることなどから、第3期、第4期に進行することはほとんどありません。

第1期

感染後、3週間から3か月の状態。トレポネーマが侵入した部位（陰部、口唇部、口腔内）に、しこり（無痛性の硬結で膿を出すようになり、これを硬性下疳と言う）が生じます。しこりはすぐ消えますが、まれに潰瘍となることがあります。また、股の付け根の部分（鼠径部）のリンパ節が腫れることがあります。

第2期

感染後、3か月から3年の状態。全身のリンパ節が腫れる他に、発熱、倦怠感、関節痛などの症状がでる場合があります。

「バラしん」と呼ばれる特徴的な全身性発しんが現れることがあり、赤い目立つ発しんが手足の裏から全身に広がり、顔面にも現れません。

治療しなくても約1か月程度で消失しますが、抗生物質で治療しない限りトレポネーマは体内に残っています。

第3期

感染後3から10年の状態。皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍（ゴム腫）が発生しますが、現在ではこのような症例をみることは稀です。

第4期

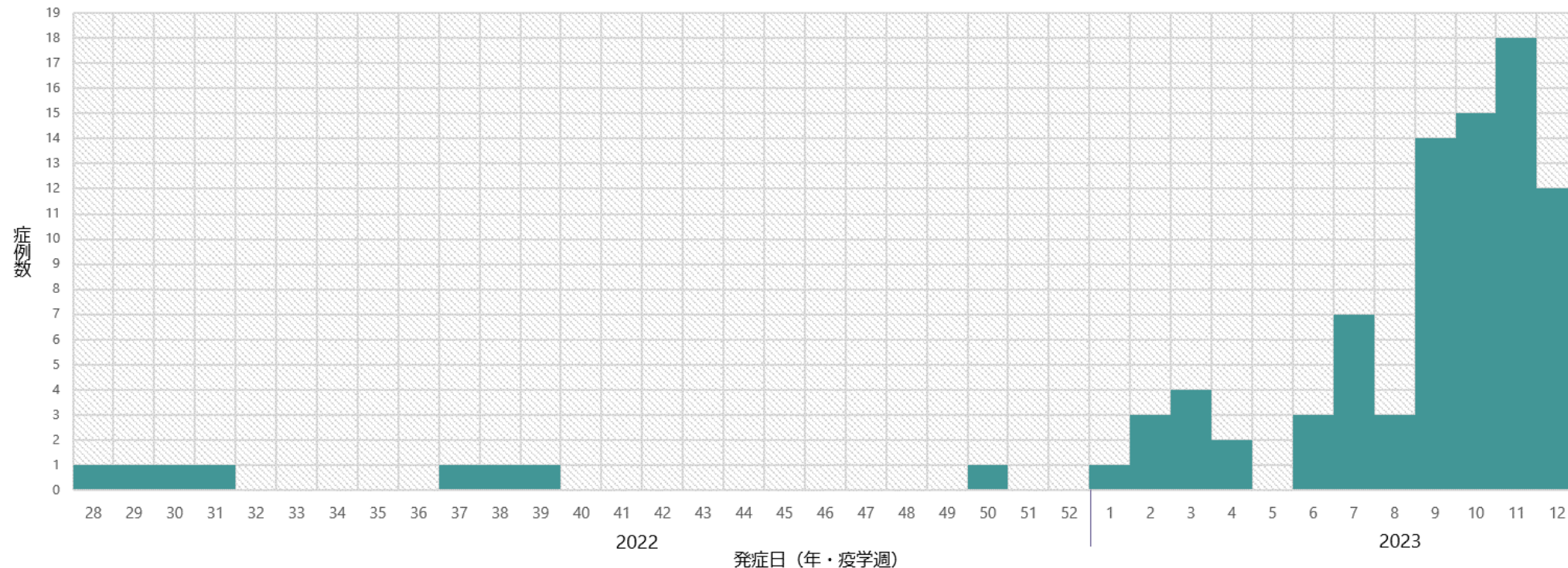
感染後10年以降の状態。多くの臓器に腫瘍が発生したり、脳、脊髄、神経を侵され麻痺性痴呆、脊髄痠を起こし、死亡に至ることがありますが現在では稀です。

先天性梅毒

妊娠している人が梅毒にかかると、胎盤をとおして胎児に感染します。生後数年以内の乳幼児期に症状が現れる早期先天梅毒では、梅毒しん、骨軟骨炎などがみられ、学童期以降に症状を呈してくる晩期先天梅毒ではハッチンソン3徴候（実質性角膜炎、内耳性難聴、ハッチンソン歯）やゴム腫などがみられます。先天梅毒の報告は現在ではまれです。

増加している エムポックス（サル痘）

エムポックス発生状況



全 国：2023年第1週から12週の間に82例。

東京都：2023年1月～4月4日までに73名。全て男性。（東京都福祉保健局報道発表より集計）

5 潜伏期

通常6～13日（最大5～21日）

6 治療と診断

(1) 臨床症状：

- ・発熱、頭痛、リンパ節腫脹などの症状が0-5日程度持続し、発熱1-3日後に発疹が出現。
- ・リンパ節腫脹は顎下、頸部、鼠径部に見られる。
- ・皮疹は顔面や四肢に多く出現し、徐々に隆起して水疱、膿疱、痂皮となる。
- ・多くの場合2-4週間持続し自然軽快するものの、小児例や、あるいは曝露の程度、患者の健康状態、合併症などにより重症化することがある。
- ・皮膚の二次感染、気管支肺炎、敗血症、脳炎、角膜炎などの合併症を起こすことがある。
- ・サル痘では手掌や足底にも各皮疹が出現することなどが、水痘との鑑別に有用とされる。

※2022年5月以降の欧米を中心とした流行では、以下のような、従来の報告とは異なる臨床徴候が指摘されている

- ・発熱やリンパ節腫脹などの前駆症状が見られない場合があること
- ・病変が局所（会陰部、肛門周囲や口腔など）に集中しており、全身性の発疹が見られない場合があること
- ・異なる段階の皮疹が同時に見られる場合があること

(2) 診断：

- ・水疱や膿疱の内容液や蓋、あるいは組織を用いたPCR検査による遺伝子の検出
- ・その他、ウイルス分離・同定や、ウイルス粒子の証明、蛍光抗体法などの方法が知られている。

(3) 治療：

- ・対症療法
- ・国内で利用可能な薬事承認された治療薬はない。
- ・欧州においては、特異的治療薬としてテコビリマットが承認されており、我が国においても同薬を用いた特定臨床研究が実施されている。